



令和5年5月11日

自治振興課

川口市制施行90周年記念 浮ヶ谷孝夫指揮 演奏会

市制施行90周年を記念し、本市出身で、ドイツを拠点に活躍する指揮者、浮ヶ谷孝夫氏率いる東京21世紀管弦楽団の演奏会を下記のとおり開催します。

記

- 主催 川口市、（公財）川口総合文化センター
- 日時 令和5年6月24日（土）
14：00開演（13：00開場）
- 場所 川口総合文化センター・リリア メインホール
- 出演者 指揮：浮ヶ谷 孝夫
フルート：浮ヶ谷 順子
管弦楽：東京21世紀管弦楽団
- 入場料 無料
- 応募方法 往復はがきに、郵便番号、住所、氏名、電話番号、
希望人数（2名まで）を明記のうえ、5月20日（金）必着で
応募先までお申し込みください。
※応募はおひとり様1通。
応募者多数の場合は抽選となります。
- 応募先 〒332-0015 川口市川口3-1-1
「川口市制施行90周年記念コンサート」係



川口市制施行90周年記念

浮ヶ谷孝夫 指揮

東京21世紀管弦楽団 演奏会

管弦楽：東京21世紀管弦楽団

【プログラム】

スメタナ：《わが祖国》より「モルダウ」

モーツァルト：フルート協奏曲 第1番ト長調 K.313

ドヴォルザーク：交響曲 第9番「新世界より」

※やむを得ず出演者、曲目が変更となる場合がございます。

フルート：浮ヶ谷順子

指揮：浮ヶ谷孝夫

【応募方法】

往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望人数(2名様まで)を明記のうえ、下記までご応募ください。

〒332-0015 埼玉県川口市川口3-1-1
「川口市制施行90周年記念コンサート」係

- 5/20(土)必着
- おひとり様1通まで
- 応募者多数の場合は抽選

お問合せ：リリア事業課 048-258-2000

川口市出身で、ドイツを拠点に活躍する
指揮者・浮ヶ谷孝夫氏と
フルーティストの順子氏をお迎えし、
川口市制施行90周年を祝います。

2023.6/24(土) 14:00開演
(13:00開場)

川口リリア・メインホール
(JR京浜東北線・川口駅 西口直結)

事前応募制
入場無料

LILIA

主催：川口市／(公財)川口総合文化センター

※未就学児の入場はご遠慮ください。



川口市制施行90周年記念 浮ヶ谷孝夫 指揮 東京21世紀管弦楽団 演奏会



指揮：浮ヶ谷孝夫
Takao Ukigaya, Conductor

1953年埼玉県川口市生まれ。世界の最前線でタクトを振る、日本を代表する指揮者の一人。1978年に渡独してベルリン芸術大学指揮科のヘルベルト・アーレンドルフ教授に師事。カラヤン、ハンガリー、両国際指揮コンクールで受賞。1986年にはポメラニアン・フィル(ポーランド)のドイツ演奏旅行の指揮者に抜擢され、欧州でデビューを果たす。1987年より、同オーケストラの専属指揮者に就任。多数のドイツ演奏旅行やCD録音で高い評価を得る。1989年より「北ドイツ放送ラジオフィルハーモニー ハノーファー」と多数のCD録音。「ポーランド国立放送交響楽団」の専属客演指揮者。1996年に「ドイツ・フィルハーモニア・ウングリカ」日本ツアー。1999年に「北西ドイツ・フィルハーモニー」日本ツアー。2001年、2005年に「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」日本ツアー。2003年には「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」の首席客演指揮者に就任。2010年より愛知県豊橋市の「豊橋青少年オーケストラキャンプ」を立上げ、毎年多くの演奏家の育成に尽力。2013年より東京都主催「歴史的建造物保全プロジェクト・マエストロ浮ヶ谷プロデュースコンサート」を担当。N響、新日フィル、日フィル、東フィル、名フィル、東京シティフィル、東京ニューシティ、大阪センチュリーなどと共演し、多くのファンを持つ指揮者。2019年8月に東京21世紀管弦楽団の音楽監督に就任。ドイツ在住。



フルート：浮ヶ谷順子
Junko Ukigaya, Flute

東京に生まれる。14歳より吉田雅夫教授のもとでフルートを学び始め東京芸大にて吉田雅夫氏、川崎優氏に師事。1978年渡独。カラヤン財団奨学生としてベルリンフィルオーケストラアカデミーで首席フルート奏者アンドレアスにブラウ氏に師事。ソロの音楽会ははじめ室内楽、ベルリンフィル定期演奏会にも第二フルート奏者として3年間に渡り数多く出演し、故ヘルベルト フォン カラヤン指揮のザルツブルク音楽祭にも参加し研鑽を積む。平成天皇皇后両陛下、そして皇太子殿下(現 令和天皇陛下)ベルリン訪問の際にはドイツ政府の依頼でベルリンフィルメンバー、ベルリン放送響(現 ドイツェンフォニーオーケストラ)のメンバーの伴奏でフルート協奏曲を御前演奏した。その後、ソリストとしての道を選び、ポメラニアンフィル、ビドゴシュチ室内管弦楽団、ライブツィヒカンマーゾリステン、東京フィルハーモニー、名古屋フィルハーモニー、ブランデンブルク国立管弦楽団フランクフルト等、多くのオーケストラとソリストとして共演。ヨーロッパと日本を中心に活動している。2007年、ドイツ大手のCD会社ベラムジカと契約、ブランデンブルク国立管弦楽団フランクフルト(浮ヶ谷孝夫指揮)とモーツァルトフルート協奏曲のCDをリリースし、2009年下半年ヨーロッパの放送局から、全てのモーツァルトの中で一番多く放送されたCDに選ばれた。その他にもJ.S.バッハソナタ集、フランク プロコフィエフなどのソナタ集、フルート小品集、イタリアのフルート協奏曲集、フルート名曲集を録音。数多くの音楽専門誌にて絶賛されている。ドイツ国内始めヨーロッパ各地、日本では東京文化会館(2014年 2017年 2018年、労音主催)のリサイタルを行い、出身地の川口、新座市、柴又帝釈天等でも行なっている。また、2010年より豊橋オーケストラキャンプに参加。多くの室内楽コンサートにも出演。近々では、2022年8月には地元ノイルツピン市で行われたオープンエアーのコンサートにブランデンブルク国立管弦楽団のソリストとして共演している。

東京21世紀管弦楽団 Tokyo 21c Philharmonic

音楽を通して、多くの人達と手を携え、今までの固定観念にとらわれない新しい時代の「楽しいオーケストラ」を目指して演奏活動を進めて行くプロフェッショナルなオーケストラとして2019年に設立。浮ヶ谷孝夫(ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト首席客演指揮者)を音楽監督に迎え、定期演奏会では、ベートーヴェン、ブラームス、ブルックナー、シューベルトといった重厚なドイツ音楽で圧倒的な成功を収めている。また、青少年のための音楽鑑賞会の依頼公演に出演するほか、教育的活動にも積極的参加し、多彩で幅広い音楽活動を展開している。クラシック音楽を広く普及させる自主公演、定期公演は東京芸術劇場を拠点とし、紀尾井ホール、サントリーホール、東京オペラシティコンサートホールなど都内の主要なホールで活動をしている。2019年オスカー新人賞を受賞したテノールのステファン・ポップ、オペラ界のビッグスター、ファン・ディエゴ・フローレス、ヴィットリオ・グリゴロとの共演。2021年、オペラシティにて行われたベートーヴェン「第九」は、満席の聴衆を魅了し大成功を収めた。2022年6月、第18回シヨパン国際コンクール第3位入賞のマルティン・ガルシア・ガルシアとの協奏曲のタベ、同年8月東京国際フォーラムホールAでのミュージカル「ラ・ラ・ランド」6回公演、11月オーチャードホールで「BBC PROMS」に出演し好評を博した。12月東京芸術劇場にて「第九」公演は多くの聴衆から高く評価された。2023年1月「ホセ・カレーラス&プラシド・ドミンゴ」コンサートに出演し好評を博すなど、その活動の場を広げている。

《次のことをあらかじめご承知の上、ご来場ください》

- 演奏中はご入場いただけません。余裕をもってご来場ください。
- 会場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話の使用は固くお断りいたします。
- 公演中止・延期・内容変更等の連絡を行うため、お電話や電子メールによりご連絡を差上げる場合がございます。
- コロナ感染症予防のためリアホームページwww.lilia.or.jpを必ずご覧ください。